

支援部だより

— 1号 —



令和元年 5月13日
鳥取県立鳥取養護学校
発行 支援部・キャリア教育部

児童生徒のみなさんの自立と社会参加に向けた活動を、キャリア教育部・支援部の取り組みを中心に情報発信させていただきます。本年度もよろしくお願いたします。

★各取り組みの紹介★

「教育相談の主な取り組み」

児童生徒や保護者の皆様にとって学校が安心安全な場であるために、悩みや心配なこと等について安心して相談できるような体制を充実させていきます。

今年度も、ほぼ毎週木曜日に児童生徒、保護者、教職員を対象にスクールカウンセラーによるカウンセリングを実施します。また毎月「相談週間」を設け、児童生徒が気軽に相談できるような活動を継続していきます。人間関係、勉強、進路、家庭生活、子育てについて等、どんなことでも相談できますので、ご活用ください。

また、関係機関と支援の連携・共有を行うための支援会議等の実施、外部の専門機関を活用した教育相談なども行っています。

(校内支援主任 福田)

「人権教育の主な取り組み」

「児童生徒一人一人が様々な人とのふれあいや身近な人権問題を通して、思いや願いを感じ取り、課題解決に向けて行動できる力を育てる」と「自尊感情を高め、本来持っている個人の能力を発揮し、自己実現を図る児童・生徒を育てる」という2つの人権教育目標のもと、それぞれの実態に合わせて人権教育を進めていきます。自分の良い面を知る、様々な活動や身近な人と進んで関わろうとするなど、学校での教育活動で人権に関することは本当にたくさんあります。日々の学校生活の中で、子どもたちが自分らしく輝いて、たくましく生きる力を育ててほしいと思います。

今年度は人権教育参観日もありますので、子どもたちの様子をご覧ください。

(人権教育主任 西村)

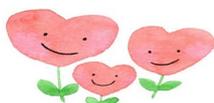
「本校のセンター的機能について」

本校は、病弱・身体虚弱教育、肢体不自由教育にかかわる専門性を地域の園や学校に情報発信・情報提供していくという『センター的機能』の役割を担っています。

主な対象は、鳥取県東部地域の園・小中学校・高校の幼児・児童及び生徒・保護者・教職員で、内容は教育相談や学校見学、交流及び共同学習の受け入れや体験入学、研修会の開催などです。

コーディネーターは教育相談の窓口として、ニーズや相談内容に応じて自立活動主任やエキスパート教員をはじめ多くの先生方の専門性を活用し、校外からの相談活動を進めていきます。

それぞれの課題や困り感に寄り添いながら、今できる指導・支援だけでなく将来を見据えた指導・支援についての助言や援助も大切にしていきたいと思っています。



(コーディネーター 福代)

「進路指導について」

平成30年度卒業生の進路についてお知らせします。

小学部6年生3名は中学部へ、中学部3年生9名は高等部へ進学しました。

高等部3年生7名はそれぞれの進路を選択し卒業していきました。

就職（製造業）	1名
職業訓練校進学	1名
就労継続支援B型	1名
生活介護事業所	4名

施設利用体験や職場体験を通して、本人・保護者・学校で体験の様子や事業所の雰囲気など、何度も話し合いを持ち進路選択、進路決定をしていきました。社会参加の場は一人一人違います。不安や困った時には相談できるような体制を整えました。各事業所等と連携を取って状況を把握するようにしています。

(進路指導主事 寺谷)